

◇ 令和2年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「大路」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	31,761,481円	/	33,655,695円	コロナ補助費で今後も充実した保育を行える備品を購入することが出来た。(差額については、おやつ代等で対応)	利用者・支援員双方が安全で満足できる運営を目指したい。
施設HPアドレス	https://minnanoiie.roukyou.gr.jp		2年目					
指定管理者名	労協センター事業団		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成21年4月1日
施設の供用開始日	平成20年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和2年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
前年度の管理・運営の継続のみではなく、学童を取り巻く地域の特色や時世の変化にも目を向け、対応ができるように工夫も図っていく。子どもを中心として地域に見える、また利用者が安心して利用できる管理・運営に努める。		概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・保護者との連携、児童への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
新型コロナウイルス感染拡大により、恒例の行事等は中止、あるいは大幅な形態の変更を行なった。密を避ける為、6月には学校の教室を借りるなど2か所分散保育を行なったが、関係者・利用者の相互理解も深まった。特徴のある子など対応について専門機関との連携がスムーズになり、子どもを第一とした保育に務めることができた。事故報告は前年度と同様2件発生した。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は市内複数の児童育成クラブにおける指定管理者としての実績や、過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、令和2年度においても、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たした。	
		(使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	コロナ禍の中で、6月は学校の特別教室等を借りての二か所保育を行なった。安全第一を考え、児童の動線確保、支援員の配置の工夫も行なった。研修においては、自宅待機兼事業所自主研修を実施し、保育の質の向上に務めた。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	通常の保育に戻り、余裕が出て来た。更に支援員の配置に工夫をし、途切れがない保育に努めた。研修に関しては市が実施するものと、事業所独自の研修に参加した。冬季・春季一時入会を2人受け入れた。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。研修に積極的に参加され、支援員等の資質向上に努められた。また、定員を超える弾力運用での受け入れも行い、児童福祉の推進に協力いただけた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	緊急事態宣言・コロナ禍で4~6月は行事が出来なかった。7月以降は集合形式を改善し、座席定位置形式で恒例行事を開催した。個人情報を含む書類等は、書庫に施錠をし管理を徹底した。	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	保育において意見・希望のあった利用者には返答。また経過・結果は口頭伝達・お知らせとして配布した。個人情報を含む書類等は、書庫に施錠をし管理を徹底した。	下半期評価	時季に合ったイベントを実施された。保護者とも連携を取り、意見を取り入れている。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。コロナ禍での過ごし方を保護者や児童から聞き取り、共有することで、飽きのこないクラブでの過ごし方を追求されていた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のおたよりの配布により、家庭への連絡を行った。また、行事エピソード等で保育の様子を伝えた。特徴のある子など必要に応じて、専門機関・学校と連携・面談を行なった。	上半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられている。イレギュラー等発生すれば、送迎時に保護者に報告されている。放課後自習広場に参加する児童についても、個別のお迎えに協力いただけた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	保護者アンケートを実施し、それに希望のあった利用者には返答。また結果はお便りとして配布、そして検討をした。特徴のある子など必要に応じて、専門機関・学校と連携・面談を行ない、保護者との相互理解に努めた。集まって行う保護者交流会は出来なかったが、お迎え時や独自アンケートを活用して新しい形の交流が出来た。	下半期評価	実施した保護者アンケートの内容を支援員間で共有、協議し、その内容を保護者にきちんと還元することで、保護者とのコミュニケーションを図ることに努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎日の日常設備点検、消防署立入など法定点検を行なった。怪我未然防止の為に、児童・職員の安全な動線の確保、危険予知が出来るように務めた。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされている。その中で不明な点があれば、当課や関係機関に連絡し、解決・改善に努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎日の日常設備点検、年2回設備点検、消防署立入など法定点検を行なった。怪我未然防止の為に、児童・職員の安全な動線の確保、危険予知が出来るように務めた。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされている。その中で不明な点があれば、当課や関係機関に連絡し、解決・改善に努められた。まちづくりセンターとも連携して訓練されている。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	